

# 第 10 回通常社員総会議案書

第 1 号議案 2022 年度事業報告(案)について

第 2 号議案 2022 年度決算報告(案)・監査報告について

第 3 号議案 2023 年度事業計画(案)について

第 4 号議案 2023 年度収支予算(案)について

第 5 号議案 役員体制について

2023 年 5 月 29 日 14 : 00 ~ 14 : 45

一般社団法人日本電子デバイス産業協会





## 第1号議案

# 一般社団法人日本電子デバイス産業協会 2022年度事業報告(案) (2022年4月1日～2023年3月31日)

一般社団法人日本電子デバイス産業協会

2022年の世界経済は、ウクライナ問題等の地政学リスクの高まりに伴うエネルギー価格や原材料価格高騰による世界的インフレの進行、各国における金融引き締め政策による急激な為替変動や中国経済の減速等あり、景気回復は力強さを欠くとともに、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

一方、電子デバイスを取り巻く市場は、車載向け半導体の需要は堅調、DX やビジネスモデルの変革に向けた企業のIT投資は底堅いものの、情報端末向け需要は減少傾向であり、市況全体としては悪化が進みました。

こういった中でNEDIAは、イベント等の開催において新型コロナウイルスへの対応としてWEB会議を活用するとともに、アフターコロナへの移行も考慮しながら対応しました。「第9回電子デバイスフォーラム京都」をWEB配信併用で開催、「電子デバイス戦略マップ 2022-2023」の発刊及び説明会を実施、電子デバイス研修講座は(基礎編)(中級編)(専門編)①②③に(入門編)を加えWEB配信併用で実施などチャレンジングな施策を実行するとともに、「NEDIA Day 東北きたかみ」「NEDIA Day 九州おおいた」「2023年新春セミナー」などのセミナーについて感染防止策を講じながら交流会も開催し、会員支援及び産業界支援につながる諸施策を推進しました。また、NEDIAマガジンの発刊等の会員のコミュニケーションを図る施策を推進しました。

会員の皆様のご支援・ご協力により、以上のイベントを着実に実施するとともに、会員規模も、2013年9月30日のスタート時の198会員から258会員(2023年3月31日現在)に増加しました。

## 1. 「第9回電子デバイスフォーラム京都」を開催

2022年10月24日(月)、10月25日(火)に京都リサーチパーク(KRP)において、「異次元に拡大する半導体/電子部品の成長シナリオを探る!!」をキャッチフレーズとして、「第9回電子デバイスフォーラム京都」を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染が減少傾向にあり会場の定員が通常に復帰していましたが、感染防止に注意を払っての開催であり、昨年度に引き続きWEB配信併用という形での開催となりました。



昨年に引き続き中会議室Aにおいて「車載電子デバイスパビリオン」を企画し、また、「マーケティングセッション」も継続して実施し、WEB参加も含め参加者320名、延セッション参加数1,120と昨年を上回るたくさんの方に参加いただき開催できました。参加者の交流を深めるレセプションは3年ぶりに開催し、多くの方に参加いただき盛況でした。舞妓の舞も実施しました。

### (1) 開催概要

①開催日時：2022年10月24日(月)10:00-10月25日(火)17:30

②場所：京都リサーチパーク(KRP)

東地区1号館4階：サイエンスホール、G会議室、中会議室A、B、C、ホワイエ

KISTIC : 2階 イノベーションルーム、1階 アトリウム

西地区 4号館 B1 : バズホール、バンケットホール

6会場、セッション数 : 17、講演数 : 51、展示ブース数 : 19、ポスター展示 : 3と昨年と同規模で実施しました。

- ③「車載電子デバイスパビリオン」: 昨年に引き続き、中会議室 Aにおいて、(株)村田製作殿のご協力により自動車・電動バイクに搭載の電子デバイス等を展示しました。
- ④セッションごとに作成している 17冊の予稿集について、今回からカラー印刷とし参加者の便宜を図りました。また、参加者へのお帰りの際への配慮として、2日目の終了時間を 17:50 から 17:30 に若干早めました。

## (2) 挨拶・基調講演、マーケティングセッション等

①挨拶・基調講演は 10月 24日(月)10:00 から西地区 4号館 B1 バズホールで実施しました。昨年に引き続き 9:30 からウエルカムコーヒーをバンケットホールに準備し、参加者に利用いただきました。

②挨拶・基調講演は司会を中村孝氏(NEDIA 理事、プログラム委員長、大阪大学)が務め、齋藤昇三 NEDIA 代表理事・会長、組織委員長の開会挨拶で始まりました。冒頭の来賓ご挨拶で、山下晃正京都府副知事、門川大作京都市長にお言葉をいただきました。基調講演は、最初に東京大学の黒田忠広 教授に「More Moore、More than Moore、More People」と題しご講演いただきました。続いて京都企業代表としてローム(株)の立石哲夫 取締役 上席執行役員 CTO に「"省エネ"、"小型化"を実現するロームのパワー・アナログ技術」と題しご講演いただきました。最後に「大国インドが急上昇、メタバース爆裂の時代が到来する！～半導体 60兆円、電子部品 30兆円達成し、デバイス 100兆円目前～」と元気の出るテーマで(株)産業タイムズ社の泉谷 渉 代表取締役会長にご講演いただきました。

会場 170名、WEB 参加を含めて 210名を超える多数の参加者に熱心に聴講いただきました。

③マーケティングセッションは、第 4回から引き続き独立したセッションとして 10月 25日(火)9:20 から東地区 1号館 4階のサイエンスホール及び G 会議室(サテライト)を会場として実施しました。電子デバイス分野における第 1線でご活躍のアナリスト 3名の特別講演で構成し、会場で 190名、WEB 参加も含めて 220名を超える多数の参加者で熱気のあるセッションとなりました。最初に「揺れる世界情勢下で成長持続を目指す半導体・装置・電子部品業界」と題し中村 剛 (株)産業タイムズ社 大阪支局 電子デバイス産業新聞 副編集長にご講演いただき、続いて、「長期的には半導体産業は成長が期待できる」～DX、GX、メタバースで半導体成長シナリオが変わる～」と題し、南川 明 インフォマインテリジェンス合同会社シニアコンサルティングディレクターにご講演いただき、最後に、「フラットパネルディスプレイ・スマホなど完成品業界見通し : PC、AR/VR、車載で LCD/OLED が直接対決へ、μLED など台風の目も」と題し、中根康夫 みずほ証券(株) エクイティ調査部 グローバル・ヘッド・オブ・テクノロジー・リサーチ/シニアアナリストにご講演いただきました。

④A～E の 5 コースのセッションを、10月 24日(月)午後、10月 25日(火)午後に合計 15セッションで構成し、参加者それぞれに興味あるセッションを聴講いただきました。A コースは「環境エネルギー」をテーマに「環境エネルギー動向」、「次世代モビリティ」、「パワーデバイスの最新動向」の 3セッション、B コースは「新時代のデジタル社会」をテーマに「デジタル総論」、「デジタル技術の最新動向」、「通信デバイス関連技術動向」の 3セッション、C コースは「驀進する半導体の世界」をテーマに「半導体の市場・技術動向」、「装置技術・プロセス技術」、「デバイス・応用」の 3セッション、D コースは「跳躍の最先端実装技術」をテーマに「パッケージ・実装技術動向」、「MEMS の最新動向」、「高密度実装の最新動向」の 3セッション、特別セッションは、産学連携の「大学セッション : マテリアル先端リサーチインフラ」、デジタル時代に重要となる「サイバーセキュリティの最前線」、地政学的に重要なテーマの「激動の時代に突入～中・韓・印の電子デバイス戦略～」の 3セッションとしました。15セッションのうち、WEB 参加も含めた聴講者の多い順は、

- ①「装置技術・プロセス技術」、②「半導体の市場・技術動向」、③「パッケージ・実装技術動向」、④「パワーデバイスの最新動向」、⑤「高密度実装の最新動向」⑥「MEMSの最新動向」であり、世の中の動向と参加いただいた方の興味がどこにあるかが伺えます。

### (3) レセプション

3年ぶりにレセプションを、10月24日(月)17:00-18:30にアトリウムで開催しました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、今回はカップインフード形式としました。150名程度の参加を得て、久しぶりに対面によるコミュニケーションの機会となった方も多く、いい雰囲気のレセプションとなりました。

舞妓の舞も実施し、舞の後に、舞妓さんと一緒に写真を撮る方が多数で、好評でした。

司会は泉谷 NEDIA 理事・副会長が務め、17:00に開始しました。主催者挨拶を齋藤 NEDIA 代表理事・会長が行い、続いて京都企業代表として、後藤 (株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ 代表取締役 社長執行役員のご挨拶があり、乾杯を西村 ローム(株)CTO 室が行い、交流の場が始まりました。17:30頃から舞妓さん2名による舞で、華やかな雰囲気となり、舞台の前が観賞及び写真撮影の場となりました。



舞の終了後、舞妓さんと写真を一緒に撮ろうとする人の列ができました。その後、司会の指名で、瀬川 NEDIA 理事・副会長、東京エレクトロン(株) 執行役員、小石 (株)堀場エステック 代表取締役社長、吉満 (株)産業タイムズ社 代表取締役社長のご挨拶がありました。最後に、岩坪 NEDIA 理事・副会長、(株)村田製作所 取締役専務執行役員の締めの挨拶があり、レセプションはお開きとなりました。終了後、知己の方同士で、京都の街に繰り出すグループも見られました。

### (4) 展示会

展示会は、ホワイエ及び中会議室 A でおこないました。ホワイエは昨年と同様に 15 ブースとし、ゆったりした配置で開催しました。中会議室 A では昨年に引き続き「車載電子デバイスパビリオン」を開催しました。

#### ① 展示参加会社：11 企業・団体、4 大学(50 音順)

インターテックエンジニアリング(株)、エヌディアイ(株)、(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ、(株)東設、(株)堀場製作所、(株)村田製作所、ムラタソフトウェア(株)、(株)ミライセンス、リソテックジャパン(株)、ローム(株)、大阪大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、山形大学、NEDIA

#### ② ポスター展示は 3 企業・団体

セミジャパン、野村マイクロ・サイエンス(株)、NEDIA 戦略マップ委員会(電子デバイス戦略マップ 2022-2023)

### (5) アンケート結果

- ① フォーラムの全体的な構成について：プログラムは時流に合っている 28%、プログラムは全体的に満足できる 61%と合わせて 89%と多くの参加者の評価をいただきました。
- ② フォーラムの運営について：良い 50%、まあまあ 25%と、まずまずの評価をいただきました。
- ③ 次回についての参加について：是非参加したい 23%、プログラムが良ければ参加したい 27%と、合わせて 50%の方は再び参加いただけるとの感触を得ました。さらに昨年も参加したが 20%であり、次回への参加も期待できると思われれます。

## 2. 「電子デバイス戦略マップ 2022-2023 社会に貢献する電子デバイス技術」を発行

### 「電子デバイス戦略マップ 2022-2023 説明会」を実施

戦略マップ委員会(委員長:齋藤昇三 代表理事・会長)において、2016年度に「NEDIA 戦略マップ 2015」、2017年度に「NEDIA 戦略マップ 2017」、2018年度に「電子デバイス戦略マップ 2018」、2019年度に「電子デバイス戦略マップ 2019」、2020年度は「電子デバイス戦略マップ 2020-2021」、2021年度は「電子デバイス戦略マップ 2021-2022」と6冊を発刊してきました。

2022年度は7冊目となる「電子デバイス戦略マップ 2022-2023」(A4版 159ページの冊子)を社会に貢献する電子デバイス技術をテーマにまとめ、2022年8月10日に発刊しました。前回と同様、書籍コードを登録し正規の書籍とし、アマゾンでも販売しました。各会員に1冊を無償配布し、その後、会員(1,500円:税込み)及び非会員(4,070円:税込み)に有償頒布しました。

会員等への無償頒布:400部、会員・非会員への有償頒布:150部の計550部を頒布しており、会員及び電子デバイス産業の関係者の考慮の一助になったと考えています。

電子デバイス戦略マップを広く活用いただく

ためには、内容について説明会を開催したが効果的との観点から、昨年度に引き続き説明会を開催しました



### 「電子デバイス戦略マップ 2022-2023」説明会 ～社会に貢献する電子デバイス技術～

開催日時:2023年1月12日(火)13:00-17:00 開催場所:学士会館 203号室

参加費:NEDIA 会員 3,000円、一般 7,000円 (電子デバイス戦略マップ 2022-2023 1冊含む)

参加者:31名

<説明会> 司会:戦略マップ委員会事務局員 松本 哲郎

① 13:00-13:55 「ハイテク業界の未来展望 100兆円市場は通過点」

戦略マップ委員会 委員、三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
インベストメントリサーチ部 シニアアナリスト

和田木 哲哉 氏

② 13:55-14:50 「今求められるパーパス経営とは

～上場企業がやるべきこと非上場企業に求められること～

戦略マップ委員会 委員、㈱プリバテック 代表取締役社長

山下 泰弘 氏

③ 15:05-16:00 「半導体産業に求められる人的資本経営一人材の育成とスキルの可視化が喫緊の課題」

戦略マップ委員会 委員、名古屋商科大学 客員教授

石原 昇 氏

④ 16:00-16:55 「電子デバイス戦略マップ 2022-2023 で考える”未来社会”と”中核技術”」

NEDIA 代表理事・会長、戦略マップ委員長

齋藤 昇三 氏

戦略マップ委員会事務局員、戦略マップ主筆

松本 哲郎 氏

### 3. 「電子デバイス研修講座(入門編)(基礎編)(中級編)(専門編)①②③」を開催

人材育成研修委員会(委員長：西村光太郎 理事)において、2019年秋季に電子デバイス研修講座(基礎編)を立ち上げ、2020年秋季に(中級編)を立ち上げ、2021年には秋季に(専門編)①②③を立ち上げ、2022年度には秋季に(入門編)を立ち上げ、体系的には完成となりました。新型コロナウイルス感染拡大への対応、遠隔地からの参加の利便を図るために、2021年度から会場とWEB参加を併用して実施しており、2022年度も引き続きWEB併用を実施しました。

関連する団体からも参加いただくために、一般社団法人日本半導体商社協会、一般社団法人日本BPO協会、九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会、一般社団法人パワーデバイス・イネーブリング協会、一般社団法人ミニマルファブ推進機構に協賛をお願いしています。

#### (1) 2022年度春季講座

##### ①「第6回電子デバイス研修講座(基礎編)」 「第4回電子デバイス研修講座(中級編)」

開催日時：2022年5月10日(火)10:00-17:00、11日(水)10:00-17:00(二日間)

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間、芙蓉の間 WEB配信併用

参加者：(基礎編)(中級編)合わせて47名

##### ②「第2回(専門編)①：3Dパッケージングと実装技術の進化」

開催日時：2022年6月30日(木)10:00-17:00

開催場所：学士会館203号室 WEB配信併用

参加者：16名

##### ③「第2回(専門編)②：パワーエレクトロニクスの現在とその未来」

開催日時：2022年6月13日(月)10:00-17:00

開催場所：学士会館203号室 WEB配信併用

参加者：16名

##### ④「第2回(専門編)③：ミニマルファブで行うデバイス製造体験」

開催日時：2022年7月14日(木)9:00-17:00

開催場所：横河ミニマルアプリケーションラボ WEB配信併用

参加者：5名

#### (2) 2022年度秋季講座

##### ①「第7回電子デバイス研修講座(基礎編)」 「第5回電子デバイス研修講座(中級編)」

開催日時：2022年11月16日(水)10:00-17:00、17日(木)10:00-17:00(二日間)

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間、芙蓉の間 WEB配信併用

参加者：(基礎編)(中級編)合わせて26名

##### ②「第3回(専門編)①：3Dパッケージングと実装技術の進化」

開催日時：2022年12月5日(月)10:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間 WEB配信併用

参加者：6名

##### ③「第3回(専門編)②：パワーエレクトロニクスの現在とその未来」

開催日時：2022年12月13日(火)10:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間 WEB配信併用

参加者：17名

##### ④「第3回(専門編)③：ミニマルファブで行うデバイス製造体験」

開催日時：2022年12月22日(木)9:00-17:00

開催場所：横河ミニマルアプリケーションラボ WEB 配信併用

参加者：3名

### ⑤ 「第1回電子デバイス研修講座(入門編)」

開催日時：2023年2月17日(金)10:00-17:00

開催場所：学士会館 203号室 WEB 配信併用

参加者：33名

## 電子デバイス研修講座

電子デバイス産業に関係する方の  
さらなるご活躍の助けになることを目指しています  
NEDIA電子デバイス研修講座は、  
充実の6講座を春季・秋季にWEB配信併用で開催します  
【入門編・基礎編・中級編・専門講座講座】

<主催>一般社団法人日本電子デバイス産業協会  
<協賛団体>一般社団法人日本半導体商社協会、一般社団法人FPD協会、  
九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会、一般社団法人パ  
ワーデバイス・イネープリング協会、一般社団法人ミニマルファブ推進機

講座	開催時期	開催場所	キャッチフレーズ	対象者
入門編 (一日) New!	春季・秋季	日本教育会館 喜山倶楽部	電子デバイスは何だ	・物理・化学を履修しなかった文系の方 ・電子デバイスに関わったことがない方
基礎編 (二日間)	春季・秋季	日本教育会館 喜山倶楽部	電子デバイスの基本を理解し よう	・新入社員 ・電子デバイスに関わりたい方 ・関わって 聞かない方
中級編 (二日間)	春季・秋季	日本教育会館 喜山倶楽部	電子デバイス分野で更なる活 躍を目指すあなたへ	・理系の入社後3~5年の方 ・営業、販売の実戦の方
専門講座① 実装技術 (一日)	春季・秋季	学士会館	3Dパッケージングと実装技術 の進化	・実装分野の中堅 経験のある技術者 ・事業企画担当 ・セットメーカの技術者
専門講座② パワーエレクトロニクス (一日)	春季・秋季	学士会館	社会を支え、進化を続けるパ ワーエレクトロニクスの現在と 未来	・パワーエレクトロニクスに関する中堅、 経験のある技術者 事業企画 営業担 当
専門講座③ デバイス製造体験 (一日)	春季・秋季	横河ミニマルア プリケーションラボ	ミニマルファブでのデバイス製 造体験 (PMOS Trを作る)	・半導体、MEMS等を製作、研究開発 を検討の技術者 ・開発コスト、期間短縮を望む技術者 ・事業企画担当

一般社団法人日本電子デバイス産業協会(NEDIA)

人材育成研修委員会

#### 4. 展示会への出展

展博委員会(委員長：井内伸哉(株)インターテック販売 顧問)で「第9回電子デバイスフォーラム京都」の展示(1.(4)項参照)を行いました。

また、Medtec Japan 2022 及び SEMICON Japan 2022 に出展しました。

##### ①「Medtec Japan 2022」に出展

開催日：2022年4月20日(水)～22日(金)

場所：東京ビッグサイト東3ホール No.610(2小間)

会員のポスター展示：5社

##### ②「SEMICON Japan 2022」に出展

開催日：2022年12月14日(水)～16日(金)

場所：東京ビッグサイト東3ホール No.3626(2m×2m)

会員のポスター展示：1社

#### 5. 部会・地域活動

##### (1) ベンチャー部会(部会長：押部弘 理事・副会長)

経済産業省のご協力を得て令和5年度予算・関連施策についての説明会をWEB配信で行いました。3年ぶりにNEDIAゴルフコンペを実施しました。ベンチャー部会研究会、納涼会については、新型コロナウイルス感染の状況から開催を中止としました。

##### ①「NEDIA第8回ゴルフコンペ」を開催

開催日時：2022年9月27日(火)9:04 IN スタート

開催場所：レイク相模カントリークラブ

会費：12,130円：キャディ、カート(昼食代各自、パーティ費用含まず)

参加者：4組15名

##### ②「令和5年度政府予算・関連施策説明会及びJST事業化支援説明会」を開催

開催日時：2023年2月27日(月)10:00-12:00

開催場所：NEDIA事務所からWEB配信及び講師はWEB講演、資料はメールで配布

参加資格：NEDIA会員

参加費：無料 参加者：31名

第1部 「令和5年度政府予算・関連施策説明会」

10:00～11:00

###### 1)全体の説明

全体方針と予算一覧表での概要説明

###### 2)各施策・事業の説明

IoT、ものづくり、エネルギー関連の施策

###### 3)質疑・応答

説明者：経済産業省商務情報政策局情報産業課 電子デバイス係長 二瓶 望美 氏

第2部 「JST支援事業「研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)の説明」11:10～12:00

説明者：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

産学連携展開部 研究支援グループ 副調査役 二階堂 知己 氏

産学共同開発部 研究支援グループ 係員  
産学共同開発部 事業推進グループ 主査

杉本 亮太 氏  
大下内 和也 氏

## (2) 装置・保守部会 (部会長：南洋一 理事・副会長)

交流会を開催し、部会員会社のコミュニケーションの向上を図るために、装置・保守部会交流会の開催を考えましたが、新型コロナ感染状況から中止としました。

## (3) 材料部品部会 (部会長：佐藤中則 理事)

新型コロナウイルス感染防止対応を行いながら、勉強会を4回開催し、会員が必要とする情報を幅広い講師に依頼して実施しました。

### ① 「第三十五回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時：2022年6月9日(木) 14:00-17:00

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 飛鳥の間

14:00-15:00 「パッケージング技術を考える」

(有)AiT 代表取締役

加藤 凡典 氏

15:10-17:00 「半導体産業はロシア問題、中国経済史 ss 区で踊り場か! ?

～メタバース急上昇は好材料、車載にも期待～」

(株)産業タイムズ社 代表取締役会長

泉谷 渉 氏

参加者：82名。

### ② 「第三十六回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時：2022年9月8日(木)13:00-16:30

開催場所：御茶ノ水めっきセンター(4F)

13:00-14:10 「世界の中の日本の半導体産業の過去・現在・未来」

Hattori Consulting International 代表/国際技術ジャーナリスト代表

服部 毅 氏

14:20-15:20 「2022年の上半期を振り返って、世界半導体市況の後半以降の動き」

グロスバーグ合同会社 代表

大山 聡 氏

15:30-16:30 「半導体市場の今後の見通し」

電子デバイス産業新聞 副編集長

浮島 哲志 氏

参加者：38名。

### ③ 「第三十七回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時：2022年12月8日(木)14:00-16:20

開催場所：御茶ノ水めっきセンター(4F)

14:00-15:10 「2023年以降の半導体回復は?けん引役は」

インフォマインテリジェンス合同会社 シニアコンサルティングディレクター

南川 明 氏

15:20-16:20 「AI基礎と業務改善の応用」

BIRD INITIATIVE(株) assimee カンパニー

松崎 隆収 氏

参加者：35名。

### ④ 「第三十八回材料部品部会勉強会」を開催

開催日時：2023年3月9日(木)14:00-16:20

開催場所：御茶ノ水めっきセンター(4F)

14:00～15:00 「業務改善とAI活用手順(ハード面&ソフト面含む)」

BIRD INITIATIVE(株) assimee カンパニー ビジネス推進担当 松崎 隆収 氏  
15:20～16:20 「最新半導体パッケージングの動向」  
インターコネクション・テクノロジーズ(株) 代表取締役 宇都宮 久修 氏  
参加者：30 名。

(4) デバイス部会 (部会長：周藤仁吉 常務理事・事務局長)

デバイス部会は、具体的テーマを策定して勉強会方式で課題に対する解及び新たな事業を見出すのを目的としています。

2022 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、目立った進展はありませんでした。

(5) 九州 NEDIA (代表：櫻井一郎 理事)

「NEDIA Day 九州おおいた」を開催しました。大分は初の開催となりました。

「NEDIA Day 九州おおいた」を開催

開催日時：2023 年 2 月 24 日(金) セミナー：12:45-16:30 交流会：16:45-18:15

開催場所：大分センチュリーホテル

<後援・協賛>

後援：経済産業省九州経済産業局、大分県

協賛：九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会

大分県 LSI クラスタ形成推進協議会

<セミナー> 2F「桜の間」

司会 三宅賢治 氏(NEDIA 理事・九州 NEDIA 副代表)

12:45-12:50 開会挨拶

NEDIA 代表理事・会長

齋藤 昇三 氏

12:50-13:00 来賓ご挨拶 九州経済産業局 地域経済部 情報政策課長

松本 孝之 氏

来賓ご挨拶 大分県 商工観光労働部 理事 兼 審議監

渡辺 文雄 氏

13:00-13:45 「豊かで持続可能な社会を made in Japan の半導体で支える」

(株)ジャパンセミコンダクター 取締役社長

川越 洋規 氏

13:45-14:35 「ソニーイメージセンサー事業の展望と九州への期待」

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株) 製造センター長

兼 大分テクノロジーセンター TEC 長 石谷 盛治 氏

14:45-15:35 「電子デバイス 100 兆円時代を支える先端製造装置メーカーを目指して」

東京エレクトロン九州(株) 執行役員

吉原 孝介 氏

15:35-16:25 「九州シリコンアイランドの大復活が始まった！

～企業誘致が中小企業を活性化、車載向けにも期待～」

NEDIA 理事・副会長、(株)産業タイムズ社代表取締役会長

泉谷 渉 氏

16:25-16:30 閉会の挨拶

NEDIA 理事・九州 NEDIA 代表、櫻井精技(株)代表取締役社長

櫻井 一郎 氏

<交流会> 3F「桐の間」

16:45-18:15

司会：NEDIA 理事・副会長 泉谷 渉

主催者挨拶・乾杯：NEDIA 代表理事・会長 齋藤 昇三

来賓ご挨拶：九州経済産業局 情報政策課長

大分県商工観光労働部長

大分県 LSI クラスター形成推進協議会 理事長

締め挨拶：NEDIA 理事・九州 NEDIA 代表

参加者：セミナー：107名、交流会：71名。

松本 孝之 氏

利光 秀方 氏

川越 洋規 氏

櫻井 一郎 氏

## (6) 関西 NEDIA (代表：中村 孝 理事)

関西 NEDIA では、2022 年度も第 9 回となる SSIS-NEDIA 関西シンポジウムを開催しました。

新型コロナの感染状況から、交流会は中止としました。

### 「第 9 回 SSIS-NEDIA 関西シンポジウム」実施報告

テーマ：100 兆円ビジネスへ向けてこれからの半導体はどうなる？

開催日時：2022 年 9 月 1 日 (木) 13:20～16:50

開催会場：新大阪丸ビル別館

主催：一般社団法人 半導体産業人協会 (SSIS)

一般社団法人 日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)

「プログラム」

13:20 - 13:30 開会の挨拶 SSIS 理事・関西地区委員会委員長

井上 道弘 氏

13:30 - 13:40 来賓挨拶 近畿経済産業局 地域経済部 次長

田口 一江 氏

13:40 - 14:35 講演 1 「世界情勢の混迷深まる中で成長目指す半導体市場」

(株)産業タイムズ社 大阪支社 電子デバイス産業新聞 副編集長

中村 剛 氏

14:35 - 15:30 講演 2 「SDGs ソサエティにおけるアプリ展望と新デバイス需要」

一般社団法人 OSTI (オスティ) 代表理事/ 研究技術アーキテクト

大津留 栄佐久 氏

15:45 - 16:40 講演 3 「世界の中の日本半導体産業の過去・現在・未来」

Hattori Consulting International 代表/ 国際技術ジャーナリスト

服部 毅 氏

16:40 - 16:50 閉会の挨拶 NEDIA 代表理事・会長

齋藤 昇三 氏

参加者：51 名

## (7) 東北 NEDIA (代表：川添良幸 理事)

3 年ぶりに北上市で「NEDIA Day 東北きたかみ」を開催しました。新型コロナ感染が減少傾向にあり、久しぶりに交流会も開催しました。

「NEDIA Day 東北きたかみ」を開催しました。

～100 兆円に向け本格成長に転じた電子デバイス産業(半導体+電子部品)～

～そのエンジンを担う東北の企業群～

開催日時 2022 年 9 月 26 日 (月) セミナー：13:00～17:00、交流会：17:15-18:45

開催場所 ホテルシティプラザ北上 瑞雲の間

後援：経済産業省東北経済産業局、岩手県、いわて半導体産業集積促進協議会、北上市

<セミナー>

13:05-13:05 開会あいさつ NEDIA 理事・東北 NEDIA 代表、東北大学未来科学技術センター

シニアリサーチ・フェロー 川添 良幸 氏

13:05-13:10 来賓ご挨拶 東北経済産業局 地域経済部 次長 佐藤 和男 氏

13:10-14:00 「ALPSALPINEにおける半導体設計生産状況 及び  
 コロナ禍で変わる SCM 戦略への東北地域産業への期待」  
 アルプスアルパイン(株) IC 設計部 部長 服部 靖之 氏

14:00-14:50 「デジタル社会とフラッシュメモリ ～今後の事業展望～」  
 KIOXIA 岩手(株) 代表取締役社長 柴山 耕一郎 氏

15:00-15:50 「半導体製造装置業界の動向と今後の展望について」  
 東京エレクトロン(株)代表取締役 副社長  
 東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)代表取締役社長 佐々木 貞夫 氏

15:50-16:50 「電子デバイス 100 兆円の時代がついにやってきた！  
 ～半導体 60 兆円強、電子部品 30 兆円を達成し設備投資は爆裂拡大～」  
 NEDIA・理事副会長、(株)産業タイムズ社 代表取締役会長 泉谷 渉 氏

16:50-16:55 閉会挨拶 NEDIA 代表理事・会長 齋藤 昇三 氏

<交流会>17:15-18:45 昂の間

17:15-17:20 開会挨拶 NEDIA 理事・東北 EDIA 副代表、アルプスアルパイン(株) 取締役  
 常務執行役員 技術担当 兼 デバイス事業担当 兼 技術本部長 泉 英男 氏

参加者：セミナー：161名、交流会：120名

## 6. 委員会活動

### (1) アクションセミナー委員会 (委員長：齋 秀樹(株)産業タイムズ社)

平日の夕方に開催し主として関東の会員に情報を提供するためにアクションセミナーを企画し、注目市場について、アクションセミナーを3回開催しました。

#### ① 「第31回アクションセミナー」を開催

開催日時：2022年8月30日(火)17:00～19:00

開催場所：学士会館202号室

テーマ：ウクライナ危機、そして中国バブル崩壊の中、それでも伸びる半導体市場

パネラー：インフォマインテリジェンス合同会社 シニアコンサルティングディレクター 南川 明 氏  
 (株)産業タイムズ社 代表取締役会長 泉谷 渉 氏

参加者：57名。

#### ② 「第32回アクションセミナー」を開催

開催日時：2022年11月8日(火)17:00-18:30

開催場所：日本教育会館喜山倶楽部 光琳の間

17:00-18:30 「メタバースの展望・課題と実現に欠かせない半導体」

国際ジャーナリスト、セミコンポータル 編集長

津田 健二 氏

参加者：25名。

#### ③ 「第33回アクションセミナー」を開催

日時：2023年2月21日(火)17:00-18:30

場所：学士会館203号室

17:00-18:30 「新たな局面を迎えた車載用リチウムイオン電池

(株)産業タイムズ社 電子デバイス産業新聞 記者

東 哲哉 氏

参加者：22名。

## (2) 戦略マップ委員会 (委員長：齋藤昇三 代表理事・会長)

NEDIA ならではの戦略マップの策定を 2015 年から開始し、2022 年度は委員会を 10 回開催し、未来社会の変化を見据え、社会に貢献する電子デバイス技術 をテーマに議論を進め、2022 年度は 7 冊目となる「電子デバイス戦略マップ 2022-2023」を 2022 年 8 月 10 日に発行しました。書籍コードを登録し、正式の書籍としています。

2022 年度の委員会活動としては、コロナで変化する未来社会をイメージアップし、未来社会を創る注目技術を整理、評価し、未来社会の実現につなげる技術を明らかにすることを主眼として進め、引き続き「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」を発行することを目指して検討してきました。まとめる方向については、2023 年新春セミナーで報告し、また新春記者会見でプレスリリースしました。

また、会員を含めた関係者に活用を図っていただくために、2021 年度から説明会を企画しており、第 2 回説明会を 2023 年 1 月 12 日(木)に実施しました。

## (3) 新事業創生委員会 (委員長：南 洋一 理事・副会長)

NEDIA としての新事業及び会員の中での新事業創生に向けた活動を行っています。

- ① 電子デバイス分野にアプローチする会社 NDI(株)を 2018 年 6 月 21 日に設立し、2021 年度からは電子デバイス研修講座の運営委託を行っています。
- ② 会員間の業種間のマッチングの仕組みの検討を進めています。

## (4) 電子デバイス・応用システム設計環境委員会 (委員長：小篠隆宏 理事)

電子デバイス、応用システムの設計活動が活発になり、電子デバイス産業の拡大に寄与するような枠組みを検討中です。

## (5) コンプライアンス委員会 (委員長：漆原育子(アーズ(株)))

独占禁止法遵守等の法令への対応及び知的所有権についての対応を検討していきます。知的所有権については、知的所有権分野の会員の連携を模索しています。

## (6) 展博委員会 (委員長：井内伸哉(株)インターテック販売))

展博委員会は、NEDIA に関連した展示会への対応を行いました。

(4. 項参照)

## (7) 人材育成研修委員会 (委員長：西村光太郎 理事)

世の中の変化が急速に進み必要なスキルが変化しつつある中で、電子デバイスに携わる方々が持つと効果的なアイテムを選定し教育研修していくことで、会員及び電子デバイス産業関連の発展に寄与することを目的として電子デバイス研修講座の拡充・体系化の推進を行なっています。

2022 年度は、電子デバイス研修講座(基礎編)(中級編)(専門編)①②③ をそれぞれ 2 回実施し、また(入門編)を立ち上げました。

## 7. 本部イベント

### (1) 第9回通常社員総会

「第9回通常社員総会」を2022年5月23日(月)16:00-16:50に喜山倶楽部光琳の間で行いました。新型コロナウイルス感染拡大の中で、ハイブリッド参加型バーチャル総会方式で実施しました。この方式では正会員に事前に議決権行使を行っていただくこととなりますが、正会員数165のうち議決権行使85件、出席4で合計89の過半数の出席を得て、齋藤昇三代表理事・会長を議長として光琳の間で開始しました。報告・説明は前面スクリーンにスライドを投射して行うとともに、WEB参加いただいた会員(16名)に配信しました。

第1号議案：「2021年度事業報告(案)について」及び第2号議案：「2021年度決算報告(案)・監査報告」、第3号議案：「2022年度事業計画(案)」、第4号議案：「2022年度収支予算(案)」及び第5号議案：「役員改選」の説明を行い、質疑の後、第1号議案・第2号議案、第3号議案・第4号議案及び第5号議案について一括して採決を行い、議決権行使で賛同いただいた正会員および出席正会員の過半数の賛成を得て原案どおり承認されました。最後に齋藤議長より会員及び役員に対してNEDIA発展のために協力を要請して社員総会はとどこおりなく閉会となりました。社員総会終了後、WEB会議方式で臨時理事会を開催し、代表理事・会長に齋藤昇三理事を選出し、その他の理事の役職等を決定しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で残念ながら懇親会は中止としました。

### (2) 2023年新春セミナーの開催

2023年の新春セミナー・新春記者会見・新年会を2023年1月23日(月)に学士会館で開催しました。新型コロナウイルス感染も減少傾向の中で、今回は、3年ぶりに会員限定での新年会を開催しました。新春セミナーに94名の参加いただき新年会には65名の会員に参加いただきました。

#### 「2023年新春セミナー・新年会」を開催

開催日時：2023年1月23日(月)14:00-17:00

開催場所：学士会館202号室

司会：大森純一 事務局員

① 14:00-14:05 「開会挨拶」 代表理事・会長 齋藤 昇三 氏

② 14:05-14:50 「電子デバイス戦略マップ2023-2024の概要

～未来社基の実現につなげる技術～

代表理事・会長、戦略マップ委員長 齋藤昇三、戦略マップ委員会 松本 哲郎 氏

③ 15:05-16:00 「新たな成長期に入ったエレクトロニクス/半導体市況はどうなる」

インフォマインテリジェンス合同会社

シニアコンサルティングディレクター

南川 明 氏

④ 16:00-16:55 「半導体産業の一時減速はニッポンに追い風となる！

～お家芸の装置、材料に勝機、国プロも本格稼働～

(株)産業タイムズ社 代表取締役会長 泉谷 渉 氏

⑤ 16:55-17:00 「閉会挨拶」

理事・副会長 押部 弘 氏

新春セミナー参加者：94名

#### <新年会 NEDIA 会員限定>

開催日時：2023年1月23日(月)17:10-18:40

開催場所：学士会館201号室

新年会参加者：会員 65 名。

#### <新春記者会見>

日時：2023 年 1 月 23 日(月) 16:00-16:30 学士会館 306 号室にて WEB 記者会見

齋藤昇三 代表理事・会長から 2023 年度の抱負及び電子デバイス戦略マップ 2023-2024 について説明しました。

### 8. 情報提供事業

#### (1) 定期刊行物の発行

NEDIA マガジンを、2022 年 7 月(第 22 号)、2023 年 1 月(第 24 号)の 2 回発行しました。

会員名簿を 2022 年 7 月に発行しました。

NEDIA マガジン、会員名簿への広告募集を行い、会員から申し込いただきました。

#### (2) ホームページの展開・メール配信

NEDIA のホームページは随時変更して会員に新しい情報を提供しました。

HP における広告の募集を行い、会員から申し込いただきました。

セミナー等のイベント情報及び関係省庁からの通達等を適宜、会員にメール配信しました。

### 9. 事務局報告

#### (1) 会員状況(2023 年 3 月 31 日現在)

正会員：169 賛助会員：24 個人会員：64 会員総数：258

2013 年 9 月 30 日 NEDIA 発足時の 198 会員から 60 会員(30%)増加しました。

#### (2) 事務局の状況 専任：2 名、嘱託：1 名、ボランティア：1 名

#### (3) 理事・監事・顧問(2023 年 3 月 31 日現在)

理事：20 名、監事：2 名、顧問：3 名

<理事・監事・顧問>

\*は常勤役員

役職名	氏名	所属
理事(代表理事・会長)	齋藤 昇三	(株)デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 代表取締役会長 兼 社長
理事(副会長)	泉谷 渉	(株)産業タイムズ社 代表取締役会長
理事(副会長)	岩坪 浩	(株)村田製作所 取締役 専務執行役員 技術・事業開発本部 本部長 兼 医療・ヘルスケア機器事業担当役員
理事(副会長、ベンチャー部会長)	押部 弘	(株)東設 代表取締役社長
理事(副会長)	瀬川 澄江	東京エレクトロン(株) 執行役員 Corporate Innovation本部 本部長代理 兼 開発戦略部 部長
理事(副会長、装置・保守部会長)	南 洋一	リソテックジャパン(株)代表取締役
理事(常務理事・事務局長)	周藤 仁吉*	(一社)日本電子デバイス産業協会
理事(東北 NEDIA 副代表)	泉 英男	アルプスアルパイン(株) 取締役 常務執行役員 技術担当 兼 デバイス事業担当 兼 技術本部長
理事 (ベンチャー部会副部会長)	小篠 隆宏	ケイレックス・テクノロジー(株) 代表取締役社長
理事(東北 NEDIA 代表)	川添 良幸	東北大学未来科学技術共同研究センター シニアリサーチ・フェロー
理事	北村 隆幸	メテック(株) 代表取締役社長
理事(九州 NEDIA 代表)	櫻井 一郎	櫻井精技(株) 代表取締役社長
理事(デバイス部会副部会長)	佐々木 元	(株)メガチップス 執行役員 ASIC 事業部 副事業部長
理事(材料部品部会長)	佐藤 中則	(株)野毛電気工業 代表取締役社長
理事	清水 孝雄	アーズ(株) 代表取締役社長
理事	千葉 芳弘	日総工産(株) 人財育成部 ゼネラルマネージャー
理事(関西 NEDIA 代表、デバイス部会副部会長)	中村 孝	ネクスファイ・テクノロジー(株) 代表取締役社長、 大阪大学 教授
理事	西村 光太郎	(株)プリバテック 相談役
理事	南部 修太郎	(株)アセット・ウィッツ 代表取締役
理事(九州 NEDIA 副代表)	三宅 賢治	(株)ピーエムティ 社長付き顧問
監事	釜原 紘一	元 三菱電機(株)半導体マーケティング 部長
監事	川端 章夫	(株)ドットインターナショナル 代表取締役社長
顧問	飯塚 哲哉	ザインエレクトロニクス(株) 代表取締役会長
顧問	河崎 達夫	元 (株)システム LSI センター 代表取締役
顧問	垂井 康夫	東京農工大学 名誉教授

2022年度

# 決算報告書

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

## 目 次

I 貸借対照表

II 正味財産増減計算書

III 財務諸表に対する注記

IV 附属明細書

V 財産目録

千代田区神田佐久間町 2 - 1 3  
一般社団法人日本電子デバイス産業協会

# I 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現 金 預 金	6,643,513	9,986,527	△ 3,343,014
棚 卸 資 産	1,573,912	1,117,227	456,685
前 払 金	505,397	551,237	△ 45,840
未 収 金	184,000	130,500	53,500
流動資産合計	8,906,822	11,785,491	△ 2,878,669
2.固定資産			
(1)特定資産			
退職給付引当資産	1,590,000	1,590,000	0
新事業創生基金	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	2,590,000	2,590,000	0
(2)その他固定資産			
什 器 備 品	3	3	0
敷 金	533,336	533,336	0
投資有価証券	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	633,339	633,339	0
固定資産合計	3,223,339	3,223,339	0
資産合計	12,130,161	15,008,830	△ 2,878,669
II 負債の部			
1.流動負債			
未 払 金	4,292	4,172	120
前 受 金	3,308,200	3,282,500	25,700
預 り 金	83,295	85,962	△ 2,667
流動負債合計	3,395,787	3,372,634	23,153
2.固定負債			
退職給付引当金	1,590,000	1,590,000	0
固定負債合計	1,590,000	1,590,000	0
負債合計	4,985,787	4,962,634	23,153
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2.一般正味財産			
一般正味財産合計	7,144,374	10,046,196	△ 2,901,822
正味財産合計	7,144,374	10,046,196	△ 2,901,822
負債及び正味財産合計	12,130,161	15,008,830	△ 2,878,669

## II 正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
入会金・会費収入	[ 24,288,561 ]	[ 24,431,452 ]	[ △ 142,891 ]
入会金・会費収入	24,288,561	24,431,452	△ 142,891
事業収入①	[ 3,787,924 ]	[ 1,930,881 ]	[ 1,857,043 ]
セミナー事業	1,688,500	971,500	717,000
共同研究及び会員交流	1,106,000	0	1,106,000
新規事業	993,424	959,381	34,043
事業収入②	[ 8,214,340 ]	[ 7,473,760 ]	[ 740,580 ]
フォーラム参加費	6,360,840	5,541,760	819,080
展示会出展費	1,655,500	1,727,000	△ 71,500
その他	198,000	205,000	△ 7,000
事業収入③	[ 5,906,450 ]	[ 7,418,750 ]	[ △ 1,512,300 ]
入門講座	894,000	0	894,000
基礎講座	1,962,300	3,646,500	△ 1,684,200
中級講座	730,950	2,087,250	△ 1,356,300
専門講座	2,319,200	1,685,000	634,200
受取利息	[ 186 ]	[ 200 ]	[ △ 14 ]
経常収益計	42,197,461	41,255,043	942,418
(2)経常費用			
事業費①	[ 15,675,297 ]	[ 15,118,044 ]	[ 557,253 ]
セミナー事業(本部)	538,913	419,931	118,982
セミナー事業(部会及び地域)	1,540,933	1,328,511	212,422
情報提供事業	1,066,355	1,143,905	△ 77,550
共同研究及び技術・人・事業の交流機会提供	4,263,196	3,092,679	1,170,517
新規事業開発費	760,285	895,563	△ 135,278
支払手数料	62,150	72,314	△ 10,164
給料手当	6,326,600	7,049,440	△ 722,840
通信費	342,700	278,511	64,189
事務消耗品費	12,165	13,645	△ 1,480
業務委託費	586,400	609,400	△ 23,000
その他	175,600	214,145	△ 38,545
事業費②	[ 8,912,991 ]	[ 7,229,243 ]	[ 1,683,748 ]
事業運営費	( 8,671,320 )	( 6,651,804 )	( 2,019,516 )
会場費用	2,596,302	1,938,747	657,555
ブース装飾費	1,357,565	1,310,158	47,407
講師謝礼	1,930,763	1,632,215	298,548
予稿集印刷費	1,727,000	999,900	727,100
WEB製作費	60,000	66,000	△ 6,000
広告費	110,000	110,000	0
運営スタッフ費	259,209	151,244	107,965
委員会スタッフ費	530,248	443,540	86,708
その他	100,233	0	100,233
事業管理費	( 241,671 )	( 577,439 )	( △ 335,768 )
旅費・交通費	131,391	399,263	△ 267,872
通信費	63,974	81,254	△ 17,280
事務消耗品費	12,540	4,724	7,816
会議・交際費	0	59,440	△ 59,440
支払手数料	32,566	32,758	△ 192
租税公課	1,200	0	1,200
事業費③	[ 10,452,918 ]	[ 6,774,711 ]	[ 3,678,207 ]
事業運営費	( 7,311,053 )	( 5,402,457 )	( 1,908,596 )
会場費用	3,250,202	2,061,547	1,188,655
講師謝礼	2,188,550	1,588,853	599,697
テキスト印刷費	1,577,820	1,607,190	△ 29,370
運営スタッフ費	135,844	66,822	69,022
委員会スタッフ費	158,637	78,045	80,592
事業管理費	( 3,141,865 )	( 1,372,254 )	( 1,769,611 )
旅費・交通費	76,076	35,177	40,899
通信費	61,818	89,710	△ 27,892
事務消耗品費	18,281	8,915	9,366
支払手数料	14,810	17,572	△ 2,762
業務委託費	2,970,000	1,220,000	1,750,000
その他	880	880	0
管理費	[ 10,034,077 ]	[ 10,273,540 ]	[ △ 239,463 ]
事務局員給与	2,509,424	2,820,360	△ 310,936
旅費・交通費	870,353	926,562	△ 56,209
事務所家賃	1,760,004	1,906,671	△ 146,667
光熱費	146,119	116,818	29,301
通信費	187,999	175,903	12,096
事務消耗品費	99,011	120,441	△ 21,430
会議・交際費	449,261	379,451	69,810
支払手数料	22,968	23,254	△ 286
租税公課	709,423	561,027	148,396
法定福利費	994,973	1,006,484	△ 11,511
業務委託費	1,615,048	1,468,036	147,012
支払寄附金	0	5,000	△ 5,000
その他	669,494	763,533	△ 94,039
経常費用計	45,075,283	39,395,538	5,679,745
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,877,822	1,859,505	△ 4,737,327
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,877,822	1,859,505	△ 4,737,327
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
徴収不能額	24,000	24,000	0
経常外費用計	24,000	24,000	0
当期経常外増減額	△ 24,000	△ 24,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,901,822	1,835,505	△ 4,737,327
一般正味財産期首残高	10,046,196	8,210,691	1,835,505
一般正味財産期末残高	7,144,374	10,046,196	△ 2,901,822
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	7,144,374	10,046,196	△ 2,901,822

### III 財務諸表に対する注記

#### 1.継続組織の前提に関する注記

該当なし。

#### 2.重要な会計方針

##### (1)有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券……すべて時価がないため、移動平均法による原価法を採用している。

##### (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法を採用している。

##### (3)固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

##### (4)引当金の会計処理

退職給付引当金…職員に対する退職金の支払に備えたものとして計上している。

##### (5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

#### 3.重要な会計方針の変更

該当なし。

#### 4.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	1,590,000	0	0	1,590,000
新事業創生基金	1,000,000	0	0	1,000,000
合 計	2,590,000	0	0	2,590,000

#### 5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,590,000	-	-	( 1,590,000 )
新事業創生基金	1,000,000	( - )	( 1,000,000 )	( - )
合 計	2,590,000	( 0 )	( 1,000,000 )	( 1,590,000 )

#### 6.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	458,950	458,947	3
合 計	458,950	458,947	3

#### 7.その他公益法人の資産、負債及び正味財産の状態及び正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項 資産除去債務に関する注記

当法人は事務所に係る不動産賃貸借契約に基づき、退去時における現状回復義務を有している。

しかし、当該債務に関する賃借資産の使用期間が明確でなく、かつ、将来移転等の予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## IV 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、省略。

### 2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、省略。

# V 財産目録

2023年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量数	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金	手元保管 普通預金 みずほ銀行日本橋支店 三菱UFJ銀行室町支店	運転資金として 運転資金として 運転資金として	168,268 4,010,438 2,464,807
	棚卸資産	在庫として864部	戦略MAP2015 (20冊×@1,386) 戦略MAP2017 (20冊×@1,132) 戦略MAP2018 (20冊×@1,226) 戦略MAP2019 (20冊×@1,368) 戦略MAP2020-2021 (100冊×@1,514) 戦略MAP2021-2022 (323冊×@1,907) 戦略MAP2022-2023 (361冊×@1,951)	1,573,912
	前払金	竹内ビルに対するもの等	事務局の4月分家賃、年会費等	505,397
	未収金	会員に対するもの等	2022年度会費	184,000
流動資産合計				8,906,822
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	みずほ銀行日本橋支店	職員の退職金の支払いに備えたもの	1,590,000
	新事業創生基金	みずほ銀行日本橋支店	将来的な新事業の実施を見据えたもの	1,000,000
その他固定資産	什器備品	ネット配信用パソコン他	継続事業、その他事業及び法人の管理運営の用に供している	3
	敷金	竹内ビルに対するもの	事務局に係るもの	533,336
	投資有価証券		エヌメディアイ(株)	100,000
固定資産合計				3,223,339
資産合計				12,130,161
(流動負債)				
	未払金		ヤマト運輸配送料	4,292
	前受金	会員に対するもの	2023年度会費他	3,308,200
	預り金	従業員及び講師に対するもの	源泉所得税、住民税	83,295
流動負債合計				3,395,787
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	職員に対する退職金の支払に備えたもの	1,590,000
固定負債合計				1,590,000
負債合計				4,985,787
正味財産				7,144,374

2023年4月21日

一般社団法人 日本電子デバイス産業協会  
代表理事・会長 齋藤 昇三 殿

一般社団法人 日本電子デバイス産業協会

監事 釜原 紘一

監事 川端 章夫

## 監査報告書

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

### 2 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

一般社団法人日本電子デバイス産業協会 2023年度事業計画(案)  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

一般社団法人日本電子デバイス産業協会

2023年度は、アフターコロナに向けて社会が動き出すとみられますが、ウクライナの問題等の地政学的なリスクの長期化も予想され、世界経済の見直しにはまだ不透明感が残ると思われま

す。電子デバイスにおいては、半導体市場全体ではしばらく踊り場という見方がありますが、アフターコロナに向けて、DX、GXが同時進行する社会に移行するという見方もあり、また、経済安全保障に向けて半導体の競争力復活のための具体策も出てきており、大きな変化が予想されています。

こういった中で、NEDIAは10周年を迎えますが、外部環境の変化に注意をはらいながら、オールジャパン体制で横断的な種々の業種の有機的連携を深め、草の根的にオープンイノベーションを進めていくという初志の施策を推進し、初志の具現化を図り新たな時代に向けて、着実に発展していく年度にしていきたいと考えます。

そのために、300会員を目指した会員拡大を進めるとともにオールジャパン体制の確立、「第10回電子デバイスフォーラム京都」の開催、「電子デバイス戦略マップ2023-2024」の発行・説明会の実施と活用、電子デバイス研修講座のニーズに対応した積極的運営、新事業創生活動等により横断的戦略機能を発揮していきます。また、10周年記念行事を種々開催し、会員の皆様とのコミュニケーションの場を増やすことも考え、さらに会員支援及び産業界支援につながる諸施策を着実に推進していきます。これを実現していくためには、財務基盤の整備が重要で、新事業による収入増を図るとともに、イベント等の収支確保等を図り、期末正味財産残高を積み増していきたいと、会員の皆様方のご協力・ご支援をお願い致します。

## 1. 組織の拡大

### (1) 会員数の拡大

2023年度末に海外を含めて300会員を目指します。業務執行理事を中心とした役員全員で、会員拡大活動を強力に推進していきます。

### (2) オールジャパン体制の推進

- ① 現在の4拠点(東北、関東、関西、九州)のさらなる活性化及び他地域の確立を順次進めていきます。
- ② アプリ分野も含めNEDIAのカバー分野における業界団体等との連携強化、各地域の団体及び各業界の団体との連携を進めていきます。

## 2. 第10回電子デバイスフォーラム京都の開催

- ① 2022年度に引き続き2023年度も電子デバイスフォーラム京都を開催します。

開催予定日：2023年10月23日(月)、10月24日(火)、場所：京都リサーチパーク(KRP)

- ② 組織委員長：齋藤昇三 代表理事・会長、プログラム委員長：中村孝 理事・関西 NEDIA 代表の体制で進めます。
- ③ 第9回の成功点、反省点を踏まえて、魅力あるプログラムを策定しプロモートの仕方等も改善し参加者数を確保するとともに、費用削減を図り、収支プラスを確実に確保する施策を推進します。

- ④ 新型コロナウイルス感染対策として第9回は Teams による WEB 配信を併用して実施しましたが、第10回も引き続き WEB 配信を併用し、遠隔地からの参加の利便を図っていきます。
- ⑤ 展示会は、第9回に引き続き「車載電子デバイスパビリオン」の実施を含め魅力ある会場設置を企画し、収入確保を図ります。
- ⑥ 第10回の記念大会となりますので、レセプションでのイベント等を考えていきます。

### 3. 「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」の発行及び活用

(戦略マップ委員会(委員長：齋藤昇三 代表理事・会長))

- ① 2022 年度から 2023 年度にかけてまとめた「電子デバイス戦略マップ 2023-2024」のレポートを 2023 年 7 月に発行し、会員その他に参照いただき、それぞれで活用いただけるようにします。2022 年度に引き続き戦略マップの説明会を実施し、関係者に戦略マップの内容を理解いただくことによって、戦略マップを役立てていきたいと考えています。
- ② 戦略マップは 2016 年から 7 冊発行してきましたが、8 冊目となる電子デバイス戦略マップ 2023-2024 は、アフターコロナで変化する未来社会をイメージアップし、未来社会を創る技術・事業を俯瞰し、電子デバイス産業が目指す新しい価値で作る未来社会を可視化し、未来社会の実現につなげる注目技術の評価をきちんと行い、明確にしていくことを主眼としてまとめています。
- ③ 戦略マップの評価の高い技術の中から、2023 年度はまず AI 関連のテーマを選び、デバイス部会、新事業創生委員会等と分担して研究会・勉強会を立ち上げ、テーマの深堀りを行うとともに解を具体的に求めていき、会員の新事業創生への寄与を図ります。
- ④ NEDIA で書籍コードをとり、アマゾン等での販売を可能にして、外部への販売増を目指します。
- ⑤ 2023 年度の委員会活動は、「電子デバイス戦略マップ 2024-2025」の発行に向けて引き続き未来社会(2030 年)をテーマに、その実現に向け、バックキャストで整理し、変化する未来社会のイメージアップを図り、未来社会の実現につなげる技術を提示していきます。

### 4. 「電子デバイス研修講座」のニーズに合った戦略的運営の推進

(人材育成研修委員会(委員長：西村光太郎 理事))

電子デバイス産業にかかわる人材のスキルアップ・底上げをしていくことは、電子デバイス産業発展のための重要事項ですので、それを研修講座等で強力で推進していきます。2019 年 11 月に電子デバイス研修講座(基礎編)を立ち上げ、2020 年度に(中級編)を加え、2021 年度に(専門編)も立ち上げ、2022 年度は入門講座の立ち上げも含めさらなる体系化・拡充を進め、ほぼ目指した体系を完成させてきましたので、2023 年度は、ニーズに合わせて有効に活用・運営していくことを目指します。

- ① 電子デバイス研修講座の有効な運営の推進  
電子デバイス研修講座について、基礎編・中級編、専門編に加え入門編を、世の中のニーズに合わせた有効な運営を行っていきます。
- ② 2020 年度～2022 年度は新型コロナウイルス感染防止対応として Teams による WEB 配信または WEB 配信併用で電子デバイス研修講座を実施しましたが、引き続き 2023 年度も WEB 配信併用を実施し、特に遠隔地からの参加の利便を図っていきます。
- ③ 人材育成研修委員会としては、有効な運営方法の確立・実施に注力する必要があり、事務局も含めた負担軽減のために、入門編、基礎編・中級編・専門編の運営を新事業創生委員会で設立

した NDI(株)に委託することで、全体的な効率向上を図っていきます。

④ 大学及び他団体との連携を推進

優秀な技術者に電子デバイス産業にかかわっていただくことは、電子デバイス産業発展にとって非常に重要です。大学及び他団体との連携により、参加いただける可能性を高める施策の検討を進めます。九州経済産業局主導で立ち上げる半導体人材育成の産官学のコンソーシアムと連携していくことも考えていきます。

また、専門講座③のミニマルファブによる体験講座は工程の一部であり、フル工程の体験講座については、(一社)ミニマルファブ推進機構と共同での開催を検討していきます。

⑤ 電子デバイス産業にかかわる資格・検定・リカレント教育等へのアプローチ

中期的事項として、資格・検定・リカレント教育等の実現に向けて、検討を続けていきたいと考えています。

5. 新たな事業の立ち上げ（新事業創生委員会(委員長：南洋一 理事・副会長))

①NEDIA の新事業を立ち上げることにより事業収入を得て、NEDIA の財務基盤の強化を図ります。

②幅広い会員及び非会員も含めたニーズ・シーズをすり合わせる機会を作り会員相互の連携から新しい製品・事業を創生する手助けをします。

6. 展示会への出展（展博委員会(委員長：井内伸哉 (株)インターテック販売 顧問))

①セミコンジャパン 2023、Medtec Japan2023 は例年通りに出展していく予定です。

② NEDIA としての出展の企画・運営を行うとともに、NEDIA ブースでの会員のポスター展示、PR 資料の取り置き等で会員の PR のお手伝いをします。

③ 電子デバイスフォーラム京都のように展示を含んだイベントの展示部分の企画・運営を行います。

④ 「電子デバイスフォーラム京都」に加え、新しいロケーションでの数年後の開催の検討をします。

7. 部会・地域活動

(1) ベンチャー部会（部会長：押部弘 理事・副会長）

①毎回 10 人前後の参加でベンチャー交流会を適宜開催し、会員の紹介・交流会等で密なコミュニケーションを行い、会員間の具体的な連携等で新しい展開を図っていきます。

②ベンチャー会員の支援についての施策を推進します。法務相談会、税務相談会等、必要なアイテムを徐々に拡大します。

③国・自治体等のベンチャー企業・中小企業支援のプログラムの説明会・紹介を行います。

④新事業創生委員会・事務局等と連携し、ベンチャー会員と大企業との橋渡しのお手伝いをします。

⑤会員間のコミュニケーションを高めるために、ゴルフコンペ、納涼会の開催をします。

(2) 装置・保守部会（部会長：南 洋一 理事・副会長）

①会員間のコミュニケーション向上のためのイベント開催を検討していきます。

②会員及び非会員からのニーズの紹介およびそれに対する会員の対応のつなぎ等、必要に応じて技術情報交換会・見学会を企画していきます。

(3) 材料部品部会（部会長：佐藤中則 理事）

部会にとって必要な情報を選択し、それに沿った勉強会を企画・運営することによって、会員の情報取得に寄与します。

**(4) デバイス部会 (部会長：周藤仁吉 常務理事・事務局長)**

- ①NEDIA の中核の電子デバイス分野での活動を行います。
- ②電子デバイスの分野で重要課題についてテーマを定め、研究会方式で解を見つけていくことを考えます。2023 年度は電子デバイス戦略マップから AI 関連をテーマに選択し、研究会・勉強会・プロジェクトを構成して推進します。

**(5) 九州 NEDIA (代表：櫻井一郎 理事)**

- ①NEDIA Day 九州を企画・運営します。
- ②九州における NEDIA の趣旨に賛同する団体との連携を進めます。

**(6) 関西 NEDIA (代表：中村 孝 理事)**

- ①NEDIA Day 関西を大阪及び有効な場所で企画・運営します。
- ②関西における NEDIA の趣旨に賛同する団体との連携を進めます。
- ③可能な範囲で電子デバイスフォーラム京都のサポートを行います。
- ④SSIS との共催シンポジウムを大阪で開催します。

**(7) 東北 NEDIA (代表：川添良幸 理事)**

- ①NEDIA Day 東北を仙台及び東北各県で企画・運営します。
- ②東北における NEDIA の趣旨に賛同する団体との連携を進めます。

**8. 委員会活動の推進**

**(1) アクションセミナー委員会 (委員長：甕秀樹(株)産業タイムズ社)**

- ①アクションセミナーについて、旬な分野・テーマを選択し、会員に新情報を提供していきます。
- ②アクションセミナーならではの運営について検討していき、適宜実施していきます、

**(3) 成長産業交流委員会 (委員長：齋藤昇三 代表理事・会長)**

- ①他団体との連携及びアライアンス等の検討・実施を行います。
- ②経済産業省とは緊密に連携をとって、提案、受託及びプロジェクトへの参画を行います。
- ③NEDO とは緊密に連携して、プロジェクトへの参画及び戦略マップでの協調を図ります。
- ④SSIS とは、連携可能なアイテムにおいて連携していきます。
- ⑤SEMI ジャパン等とは展示会を通じた連携を進めます。

**(3) 電子デバイス・応用システム設計環境委員会 (委員長：小篠隆宏 理事)**

電子デバイス、応用システムの設計活動において、電子デバイス産業の拡大に寄与する設計環境の枠組みを検討していきます。

**(4) コンプライアンス委員会 (委員長：漆原育子 (アーズ(株) 取締役)**

- ①新事業立ち上げにあたって独禁法等の法的課題を顧問弁護士と連携して対応していきます。
- ②ベンチャー部会と連携して、知的所有権でのサポートの進め方の検討をしていきます。

**(5) IR 広報委員会 (委員長：周藤仁吉 常務理事・事務局長)**

- ①HP の改善を継続して進めます。

②HP、NEDIA マガジンでの広告について、新事業創生委員会と連携して進めます。

③NEDIA 施策で広報を行ったが良いものについては、積極的にアプローチします。

## 9. 新型コロナウイルスへの対応等について

- (1) 新型コロナウイルス感染防止に対しては、国の扱いの変化も予想されますので、注意は怠らずに、セミナー等のイベントについては、関係機関の情報・要望等を把握しながら対応していきます。
- (2) 当面はイベント等での収入が減少等の影響も予想されますので、支出はできるだけ抑えて運営していきます。
- (3) HP、NEDIA マガジン等への広告掲載による収入増を図っていきます。
- (4) Teams による WEB 会議の活用を推進します。

## 10. 10周年記念行事の実施

- (1) 第10回通常社員総会時に、記念講演会及び懇親会を開催します。
- (2) 第10回電子デバイスフォーラム京都のレセプションで記念行事を行います。
- (3) 2024年新春セミナー及び新年会を10周年記念大会として行います。
- (4) NEDIA マガジン(2024年1月発行予定)において、10周年記念号として編集します。

## 11. 情報提供事業

- (1) 定期刊行物の発行  
NEDIA マガジン：年2回発行の予定です。  
会員名簿の発行：2023年版を発行します。
- (2) ホームページの運営：継続して、内容の拡充を図ってまいります。  
イベント情報及び関係省庁の通達等は適宜会員にメール配信します。

## 12. 事務局・顧問体制

- (1) 事務局は、専任2名、嘱託1名、ボランティア1名体制で推進します。
- (2) 全顧問は任期満了につき、飯塚哲哉、河崎達夫、垂井康夫の3名を重任とします。

# 2023年度正味財産増減計算書(予算案)

第4号議案

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位:円)

科 目	22年度予算(A)	22年度実績(B)	23年度予算案(C)	予算比 (C/A)	実績比 (C/B)
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1. 経常増減の部</b>					
<b>(1) 経常収益</b>					
入金・会費収入	25,000,000	24,288,561	25,100,000	100.4%	103.3%
特別会費収入	300,000	60,000	300,000	100.0%	500.0%
入会費収入	200,000	0	200,000	100.0%	101.8%
特別会費収入	22,500,000	22,109,562	22,500,000	100.0%	101.0%
入会費収入	1,200,000	1,299,999	1,300,000	108.3%	107.7%
個人会費収入	800,000	819,000	800,000	100.0%	120.1%
事業収益①	4,050,000	3,787,924	4,550,000	112.3%	118.4%
事業収益	2,000,000	1,688,500	2,000,000	100.0%	135.6%
事業収益	50,000	0	50,000	100.0%	100.7%
事業収益	1,000,000	1,106,000	1,500,000	150.0%	112.6%
事業収益	1,000,000	993,424	1,000,000	100.0%	112.6%
事業収益②	8,950,000	8,214,340	9,300,000	103.9%	107.9%
事業収益	6,900,000	6,393,840	7,200,000	104.3%	112.6%
事業収益	2,000,000	1,622,500	1,750,000	87.5%	107.9%
事業収益	0	0	0	0.0%	176.8%
事業収益	50,000	198,000	350,000	700.0%	83.3%
事業収益	8,400,000	5,906,450	7,000,000	83.3%	145.4%
事業収益	4,000,000	894,000	1,300,000	33.5%	112.1%
事業収益	2,300,000	1,962,300	2,200,000	95.7%	136.8%
事業収益	2,100,000	730,950	1,000,000	47.7%	107.8%
事業収益	2,100,000	2,319,200	2,500,000	119.0%	537.6%
事業収益	1,000	186	1,000	100.0%	109.1%
事業収益	100,000	0	100,000	100.0%	113.3%
<b>経常収益計</b>	<b>46,501,000</b>	<b>42,197,461</b>	<b>46,051,000</b>	<b>99.0%</b>	<b>111.3%</b>
<b>(2) 経常費用</b>					
事業費用①	17,265,000	15,675,297	17,765,000	102.9%	111.3%
事業費用	600,000	538,913	600,000	100.0%	97.3%
事業費用	1,500,000	1,540,933	1,500,000	100.0%	121.9%
事業費用	1,300,000	1,066,355	1,300,000	100.0%	82.1%
事業費用	3,000,000	4,263,196	3,500,000	116.7%	100.0%
事業費用	100,000	0	100,000	100.0%	171.0%
事業費用	1,300,000	760,285	1,300,000	100.0%	160.9%
事業費用	100,000	0	100,000	100.0%	124.9%
事業費用	100,000	62,150	100,000	100.0%	123.3%
事業費用	7,900,000	6,326,600	7,900,000	100.0%	102.3%
事業費用	300,000	342,700	300,000	100.0%	256.3%
事業費用	15,000	12,165	15,000	100.0%	101.4%
事業費用	600,000	586,400	600,000	100.0%	100.8%
事業費用	450,000	175,600	450,000	100.0%	100.8%
事業費用②	8,855,000	8,912,991	8,980,000	101.4%	98.6%
事業費用	8,260,000	8,671,320	8,550,000	103.5%	100.1%
事業費用	2,600,000	2,596,302	2,600,000	100.0%	99.4%
事業費用	1,300,000	1,357,565	1,350,000	103.8%	98.4%
事業費用	1,700,000	1,930,763	1,900,000	111.8%	98.4%
事業費用	1,700,000	1,727,000	1,700,000	100.0%	116.7%
事業費用	70,000	60,000	70,000	100.0%	100.0%
事業費用	70,000	110,000	110,000	157.1%	77.2%
事業費用	200,000	259,209	200,000	100.0%	113.2%
事業費用	600,000	530,248	600,000	100.0%	20.0%
事業費用	20,000	100,233	20,000	100.0%	71.4%
事業費用	595,000	241,671	430,000	72.3%	79.7%
事業費用	50,000	0	0	0.0%	153.5%
事業費用	350,000	131,391	250,000	71.4%	190.3%
事業費用	70,000	63,974	50,000	71.4%	78.2%
事業費用	5,000	12,540	10,000	200.0%	79.7%
事業費用	60,000	0	60,000	100.0%	100.0%
事業費用	50,000	32,566	50,000	100.0%	153.5%
事業費用	0	0	0	0.0%	100.0%
事業費用	10,000	1,200	10,000	100.0%	49.5%
事業費用③	7,385,000	10,452,918	5,175,000	70.1%	47.3%
事業費用	5,660,000	7,311,053	3,460,000	61.1%	46.2%
事業費用	2,000,000	3,250,202	1,500,000	75.0%	45.7%
事業費用	1,500,000	2,188,550	1,000,000	66.7%	50.7%
事業費用	2,000,000	1,577,820	800,000	40.0%	36.8%
事業費用	50,000	135,844	50,000	100.0%	63.0%
事業費用	100,000	158,637	100,000	100.0%	54.6%
事業費用	10,000	0	10,000	100.0%	39.4%
事業費用	1,725,000	3,141,865	1,715,000	99.4%	161.8%
事業費用	30,000	76,076	30,000	100.0%	54.7%
事業費用	100,000	61,818	100,000	100.0%	83.3%
事業費用	10,000	18,281	10,000	100.0%	135.0%
事業費用	60,000	0	50,000	83.3%	50.5%
事業費用	20,000	14,810	20,000	100.0%	100.0%
事業費用	1,500,000	2,970,000	1,500,000	100.0%	100.0%
事業費用	5,000	880	5,000	100.0%	112.3%
事業費用	3,200,000	2,509,424	3,200,000	100.0%	100.0%
事業費用	1,500,000	870,353	1,300,000	86.7%	149.4%
事業費用	2,000,000	1,760,004	2,000,000	100.0%	113.6%
事業費用	120,000	146,119	120,000	100.0%	82.1%
事業費用	150,000	187,999	150,000	100.0%	79.8%
事業費用	100,000	99,011	100,000	100.0%	101.0%
事業費用	250,000	449,261	300,000	120.0%	66.8%
事業費用	50,000	22,968	50,000	100.0%	217.7%
事業費用	800,000	709,423	800,000	100.0%	112.8%
事業費用	950,000	994,973	950,000	100.0%	95.5%
事業費用	1,600,000	1,615,048	1,600,000	100.0%	99.1%
事業費用	700,000	669,494	700,000	100.0%	104.6%
<b>経常費用計</b>	<b>44,925,000</b>	<b>45,075,283</b>	<b>43,190,000</b>	<b>96.1%</b>	<b>95.8%</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>1,576,000</b>	<b>△ 2,877,822</b>	<b>2,861,000</b>	<b>181.5%</b>	<b>-99.4%</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,576,000</b>	<b>△ 2,877,822</b>	<b>2,861,000</b>	<b>181.5%</b>	<b>-98.6%</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>1,576,000</b>	<b>△ 2,901,822</b>	<b>2,861,000</b>	<b>181.5%</b>	<b>71.1%</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>10,046,196</b>	<b>10,046,196</b>	<b>7,144,374</b>	<b>71.1%</b>	<b>140.0%</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>11,622,196</b>	<b>7,144,374</b>	<b>10,005,374</b>	<b>86.1%</b>	<b>140.0%</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
<b>当期指定正味財産増減額</b>	0	0	0	0.0%	0.0%
<b>指定正味財産期首残高</b>	0	0	0	0.0%	0.0%
<b>指定正味財産期末残高</b>	0	0	0	0.0%	0.0%
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>11,622,196</b>	<b>7,144,374</b>	<b>10,005,374</b>	<b>86.1%</b>	<b>140.0%</b>

## 役員体制について

現在の理事20名及び監事2名は全員任期満了となり、以下の理事・監事が重任及び新任となります。

理事: 重任 19名、新任 2名、監事: 重任 2名

(50音順)

役職名	氏名		所属
理事	相原 正巳	新任	アルプスアルパイン(株) 執行役員 コンポーネント2事業担当
理事	泉谷 渉	重任	(株)産業タイムズ社 代表取締役会長
理事	岩坪 浩	重任	(株)村田製作所 取締役 専務執行役員 技術・事業開発本部 本部長 兼 医療・ヘルスケア機器事業担当役員
理事	小篠 隆宏	重任	ケイレックス・テクノロジー(株) 代表取締役社長
理事	押部 弘	重任	(株)東設 代表取締役社長
理事	川添 良幸	重任	東北大学未来科学技術共同研究センター シニアリサーチ・フェロー
理事	北村 隆幸	重任	メテック(株) 代表取締役社長
理事	齋藤 昇三	重任	(株)デバイス&システム・プラットフォーム開発センター 代表取締役会長 兼 社長
理事	櫻井 一郎	重任	櫻井精技(株) 代表取締役社長
理事	佐々木 元	重任	(株)メガチップス 執行役員 ASIC事業部 副事業部長
理事	佐藤 中則	重任	(株)野毛電気工業 代表取締役社長
理事	清水 孝雄	重任	アーズ(株) 代表取締役社長
理事	周藤 仁吉	重任	(一社)日本電子デバイス産業協会
理事	瀬川 澄江	重任	東京エレクトロン(株) 執行役員 Corporate Innovation本部 本部長代理 兼 開発戦略部 部長
理事	千葉 芳弘	重任	日総工産(株) 人財育成部 ゼネラルマネージャー
理事	鶴丸 哲哉	新任	元 ルネサスエレクトロニクス(株) 代表取締役会長
理事	中村 孝	重任	ネクスファイ・テクノロジー(株) 代表取締役社長、大阪大学 教授
理事	西村 光太郎	重任	(株)プリバテック 相談役
理事	南部 修太郎	重任	(株)アセット・ウィッツ 代表取締役
理事	南 洋一	重任	リソテックジャパン(株) 代表取締役
理事	三宅 賢治	重任	オフィス三宅 代表
監事	釜原 紘一	重任	元 三菱電機(株) 半導体マーケティング部長
監事	川端 章夫	重任	(株)ドットインターナショナル 代表取締役社長

泉 英男は任期満了につき退任